

## 令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立浅草高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長及び総務主任（事務局長）
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長(2)、経営企画室長、教務主任（主幹教諭）、生活指導主任、  
進路指導主任 総務主任（主幹教諭） 3学年主任（主幹教諭） 計9名
- (4) 協議委員の構成  
近隣中学校長、地域住民代表(4)、消防署代表、警察署代表、保護者代表1名  
元東部学校経営支援センター支所長 計9名

### 2 学校運営連絡協議会の実施概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和2年7月28日（火） 内部委員9名、協議委員7名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、協議会趣旨説明  
学校経営報告、学校経営計画の説明、本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和2年11月27日（金） 内部委員8名、協議委員7名  
本校の現状と課題等説明、意見交換、学校行事・募集対策について  
学校評価アンケートの内容検討等
  - 第3回 令和3年3月18日（木） 内部委員8名、協議委員5名  
学校評価アンケートの報告、1年間の教育活動に関する報告  
次年度に向けた「浅草高校再始動プロジェクト」を示す、意見交換  
各協議委員アンケートの実施
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和2年11月27日（金） 内部委員3名、協議委員2名  
学校評価アンケート実施の基本方針、学校評価の実施に向けた課題等の協議
  - 第2回 令和3年3月18日（木） 内部委員3名、協議委員2名  
学校評価アンケートの集計結果の分析、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解度」「教育活動の満足度」「職員の取組み姿勢」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 全校生徒 対象：595人 回収：437人 回収率：73.5%
  - ・12月 保護者全員 対象：595人 回収：171人 回収率：28.8%
  - ・12月 地域・住民 対象：10人 回収：6人 回収率：60.0%
  - ・12月 教職員 対象：65人 回収：65人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
  - ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、健康・安全・ライフワークバランスの推進など
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・本校の特色である単位制・三部制については生徒、保護者とも9割程度が理解して

いる。

- ・学力向上については、生徒62%、保護者78%で肯定的回答があり、生徒と保護者でばらつきがあった。
- ・マナー向上については生徒、保護者は肯定的回答が70%程度だったが、教員の肯定的回答は5割強にとどまった。
- ・進路指導に関しては生徒、保護者とも肯定的回答が約80%となった。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・生徒、保護者は本校の特色を理解し、概ね本校の教育活動に肯定的な意見を持っている。まだまだ課題のある項目もあり、今後とも「きめ細かな指導」の徹底を図る必要がある。
- ・体罰、いじめに関する設問に対しては生徒の否定的回答は多くはないが、保護者の肯定的回答は7割弱であった。一方、教員の肯定的回答は9割を超えている。今後も、きめ細かい生徒対応を心掛けると共に、学校側の取り組みがこれまで以上に保護者に伝わる努力・工夫も必要である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・協議委員からの提案・要望を受け、地域で取り組んでいる防犯・防災活動などに協力し、地域連携の強化を今まで以上に図っていく。
- ・学校評価アンケートの結果分析などを通して、本校の教育活動及び現状と課題を理解していただくことができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・本校入学以前から様々な課題を抱える生徒が在籍する現状から、関係機関との連携を大切に一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が必要である。
- ・地域に対して学校情報を積極的に発信し、地域と連携して地域とともに発展する学校となるよう努める必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- ・きめ細かな指導の実現のための教職員のより一層の資質向上を図る。
- ・生徒の規範意識向上への取り組みをさらに強化する。
- ・社会の変化に対応した「求められる学校」とするための取り組みを具現化する。
- ・スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカーとの連携を充実させ、生徒の支援を充実する。
- ・職員が一体となって共通理解を持ち、安全で安心な学校づくりに取り組む。

6 協議委員へのアンケート結果

(1) 対象となる協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
2	4	2	0	0	1	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【参加実績】 職員会議 なし 企画調整会議 なし

8 その他

- ・次年度は開催期日を早期に調整し、協議員の参加人数を高める。
- ・多くの協議委員の方々の学校を訪れる機会が増えるように、学校行事や授業公開の日程をできるだけ早くお知らせする。